

企業リーダーのための

成果があがる！実践マネジメント講座（通称：実ドラ講座）



リーダーシップそれ自体は、良いことでも、望ましいものでもない。それは、手段である。

何のためのリーダーシップかが重要である。（中略）

それでは、リーダーとは何か。まず第一に指摘すべきは、それは仕事だということである。

『未来企業～生き残る企業の条件』 P.F.ドラッカー著（ダイヤモンド社刊）
15章「リーダーシップ～格好よりも行動」より。

リーダーになれる人、なれない人の差は、カリスマ性や才能ではありません。

「素晴らしいアイデア」が、ただの“思いつき”に終わってしまう人。がいる一方で・・・

単なる“思いつき”だったのに、それが「成果」に結び付く人。があります。

いったい何がちがうのでしょうか？

「こんなことやってみないか？」

「こうすれば、うまく行くんじゃないか？」

語りかけても、反応がなくて一人ぼっち……。



こんな現象が起きたとき、私たちの反応は、

「強い統率力をもつカリスマになりたい！」とか、

「反抗的な部下を排除できる権力が欲しい。」とか……

あるいは逆に、

「自分には、前任者のようなリーダーシップがない。」とか、

「もう自分から“何かをやろう”なんて言わないでおこう。」とか……

そうした反応をしてしまう方も 多いようです。

しかし、**リーダーシップの本質**は、

カリスマ性や、**権限**や**権力**でもありませんし、**天賦の才**でもありません。

それは、

『**リーダーとしての仕事**』をしているのか？

『**リーダーとしての仕事**』をしていないのか？

にかかっています。

では、『リーダーとしての仕事』とは何でしょうか？

すくなくとも、“他人を自分の思い通りに操ること”ではありません。

これからの時代に、組織の中で中心となって成果をあげる『自ら考えて行動する人』は、

そんな支配的な考えをする人のもとで働こうとは思いません。

むしろ、自分を“一人前の人”に育ててくれる人のもとで働きたいと考えます。

『自ら考え行動する人』を育てるような、『リーダーとしての仕事』。

それがこの講座のテーマです。

『リーダーとしての仕事』を学ぶ際の入門となる「マネジメントの体系」と部下や同僚から信頼を

寄せられる人になるために身につけるべき「成果をあげる5つの能力（習慣）」について

[思考編]と[行動編]という二つの講座に分けて学びます。

内容：

[思考編]	[行動編]
自ら考え行動するナレッジワーカーの特性	成果をあげる行動習慣①：自己革新のための時間管理
ナレッジワーカーのマネジメント	成果をあげる行動習慣②：成果をあげる意思決定を行う
成果をあげる思考習慣①：貢献を重視する	成果をあげる仕組み①：自己目標管理制度
成果をあげる思考習慣②：強みを生かす	成果をあげる仕組み②：アクション・プラン
成果をあげる思考習慣③：重要な事に集中する	成果をあげる仕組み③：継続して学ぶ環境

この講座を通じて、

★成果をあげる人になるための自己変革のきっかけ

★リーダーとして行動するための具体的なイメージ

★自分は、何から取り組むか？という行動のステップ

を手に入れていただくと嬉しいです！

講座のテキストにはシリーズ累計 21 万部の『実践するドラッカー』より[思考編]と[行動編]の 2 冊を

使用します。書店などでお求め上ご参加くださいませ。



思考編について
動画でご紹介



行動編について
動画でご紹介



講座のスケジュールとお申し込みはこちらから！

<http://d-support-ltd.jp/event/>



[主催]

有限会社ナレッジプラザ

〒060-0042 札幌市中央区大通西 4 丁目 1 番地 道銀ビル 10 階

TEL : 011-261-7411

FAX : 011-212-1401